

曳馬城(引馬城, 引間城) (浜松市中区松城町) (東照宮)

略 歴

この城がいつ築かれたかは不明ですが永正 11(1514)年、今川氏の重臣飯尾賢連が移住した頃から歴史上に登場する。今川義元が桶狭間で敗死した後を継いだ氏真により、三代連竜は背信を疑われ暗殺された。その後、妻田鶴の方が城を守ったが、永禄 11(1568)年、徳川家康により滅ぼされた。家康はこの曳馬城に入り新たに濱松城を築城し、曳馬城は濱松城の一部として取り込まれ、米倉が置かれた。

現 況

現在、城址には東照宮が建立されており城址を示すものとしては城址碑・一部土塁が残されているにすぎない。

帝国博物学協会による

